

**アクリノール・亜鉛華軟膏**

Acrinol and Zinc Oxide Ointment

アクリノール酸化亜鉛軟膏

**製法**

アクリノール，微末	10 g
亜鉛華軟膏	990 g
全量	1000 g

以上をとり，軟膏剤の製法により製する。

**性状** 本品は黄色である。

**確認試験**

- (1) 本品 0.5 g にジエチルエーテル 5 mL，希塩酸 5 mL 及び亜硝酸ナトリウム試液 2～3 滴を加えて振り混ぜ，放置するとき，水層は暗赤色を呈する（アクリノール）。
- (2) 本品 0.5 g を強熱して灰化し，残留物を希塩酸 5 mL に溶かした液は亜鉛塩の定性反応を呈する。
- (3) 本品 0.5 g にジエチルエーテル 5 mL，酢酸 (100) 1 mL 及び水 5 mL を加えて振り混ぜた後，水層を分取し，試料溶液とする。別にアクリノール 5 mg を酢酸 (100) 1 mL 及び水 5 mL に溶かし，標準溶液とする。これらの液につき，薄層クロマトグラフ法により試験を行う。試料溶液及び標準溶液 5  $\mu$ L ずつを薄層クロマトグラフ用シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポットする。次にジエチルエーテル/エタノール (95) /酢酸 (100) 混液 (40 : 10 : 1) を展開溶媒として約 10 cm 展開した後，薄層板を風乾する。これに紫外線（主波長 365 nm）を照射するとき，試料溶液及び標準溶液から得たスポットは，青色の蛍光を発し，それらの  $R_f$  値は等しい。

**貯法**

保存条件 遮光して保存する。

容器 気密容器。

**アクリノール・チンク油**

Acrinol and Zinc Oxide Oil

**製法**

アクリノール，微末	10 g
チンク油	990 g
全量	1000 g

以上をとり，研和して製する。

**性状** 本品は黄白色の泥状物で，長く静置するとき，成分の一部を分離する。

**確認試験**

- (1) 本品 1 g にジエチルエーテル 10 mL，酢酸 (100) 2 mL 及び水 10 mL を加えてよく振り混ぜ，水層を分取する。これに塩酸 5 mL 及び亜硝酸ナトリウム試液 2～3 滴を加えて振り混ぜ，放置するとき，液は暗赤色を呈する（アクリノール）。
- (2) 本品 1 g をるつぼにとり，加温して融解し，徐々に温度を高めて全く炭化し，更にこれを強熱するとき，黄色を呈し，冷えると色は消える。残留物に水 10 mL 及び希塩酸 5 mL を加え，よく振り混ぜた後，ろ過し，ろ液にフェロシ

アン化カリウム試液 2～3 滴を加えるとき，白色の沈殿を生じる（酸化亜鉛）。

- (3) 本品 0.2 g にエタノール (95) 20 mL 及び酢酸 (100) 1 mL を加えてよく振り混ぜ，遠心分離した後，ろ過し，ろ液を試料溶液とする。別にアクリノール 5 mg をエタノール (95) 50 mL 及び酢酸 (100) 2.5 mL に溶かし，標準溶液とする。これらの液につき，薄層クロマトグラフ法により試験を行う。試料溶液及び標準溶液 5  $\mu$ L ずつを薄層クロマトグラフ用シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポットする。次に 2-プロパノール/酢酸 (100) 混液 (9 : 1) を展開溶媒として約 10 cm 展開した後，薄層板を風乾する。これに紫外線（主波長 365 nm）を照射するとき，試料溶液及び標準溶液から得たスポットは，青色の蛍光を発し，それらの  $R_f$  値は等しい。

**貯法**

保存条件 遮光して保存する。

容器 気密容器。

**複方アクリノール・チンク油**

Compound Acrinol and Zinc Oxide Oil

**製法**

アクリノール，微末	10 g
チンク油	650 g
アミノ安息香酸エチル，細末	50 g
サラシミツロウ	20 g
親水ワセリン	270 g
全量	1000 g

以上をとり，研和して製する。

**性状** 本品は淡黄色～黄色である。長く静置するとき，成分の一部を分離する。

**確認試験**

- (1) 本品 1 g にジエチルエーテル 10 mL，酢酸 (100) 2 mL 及び水 10 mL を加えてよく振り混ぜ，水層を分取する。これに塩酸 5 mL 及び亜硝酸ナトリウム試液 2～3 滴を加えて振り混ぜ，放置するとき，液は暗赤色を呈する（アクリノール）。
- (2) 本品 1 g をるつぼにとり，加温して融解し，徐々に温度を高めて全く炭化し，更にこれを強熱するとき，黄色を呈し，冷えると色は消える。残留物に水 10 mL 及び希塩酸 5 mL を加え，よく振り混ぜた後，ろ過し，ろ液にヘキサシアノ鉄 (III) カリウム試液 2～3 滴を加えるとき，白色の沈殿を生じる（酸化亜鉛）。
- (3) 本品 0.2 g にエタノール (95) 20 mL 及び酢酸 (100) 1 mL を加えてよく振り混ぜ，遠心分離した後，ろ過し，ろ液を試料溶液とする。別にアクリノール 5 mg 及びアミノ安息香酸エチル 0.025 g をそれぞれエタノール (95) 50 mL 及び酢酸 (100) 2.5 mL に溶かし，標準溶液 (1) 及び標準溶液 (2) とする。これらの液につき，薄層クロマトグラフ法により試験を行う。試料溶液及び標準溶液 5  $\mu$ L ずつを薄層クロマトグラフ用シリカゲル（蛍光剤入り）を用いて調製した薄層板にスポットする。次に 2-プロパノール/酢酸 (100) 混液 (9 : 1) を展開溶媒として約 10